

## 1370 | ミュゼオロジーⅠ

2単位（通信授業1単位、面接授業1単位）

新見隆教授、河原啓子講師、中島智講師

## 授業の概要と目標

「ミュゼオロジー（博物館学）」の概念についての基本的理解を獲得し、世界と日本における博物館の成立から現在までの展開、現行の博物館法に基づく博物館の定義と分類、博物館と博覧会等との関係、博物館における資料の条件と区分法、資料の保存と公開との関係、現代のヨーロッパと日本における博物館の動向、博物館の施設と活動との関係などについての基礎的知識を、美術館の事例を中心として学修すること。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

学芸員の業務や美術館活動の実際を、講義と見学、グループ議論等により指導。

## ○通信授業課題

教材による学習の後、博物館施設の事例調査に基づく研究を課題とする学修報告書を課し、添削指導を行う。

\*課題については学習指導書『ミュゼオロジーⅠ 平成29年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

面接授業



通信授業

## [面接授業]

- ・コレクション形成と美術館の成立／美術館と展覧会／学芸員の業務／美術館評価／美術館の動向 等
- ・美術館見学／学芸員・職員による説明／施設、展示、来場者等に関する調査
- ・見学施設への美術館評価のグループ発表と講評指導

## [通信授業]

- ・（教材による学習）ミュゼオロジーの概念／ミュージアム体験の意味／博物館法／博物館の種類／ミュージアムの歴史／各国博物館の特徴と社会背景／設置形態と収集理念／ミュージアムの空間／キュレーター視点 等
- ・（学修報告と添削指導）美術館の人・物・場の関係について事例調査に基づく研究

## 成績評価の方法

通信授業、面接授業評価の平均点とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備考] 芸術文化学科各コース3年次必修科目。

芸術文化学科以外の学芸員課程履修者は、「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位修得が無くても履修できる。

## 教材等

教科書：新見隆編『ミュゼオロジーへの招待』（武蔵野美術大学出版局 2015年）

学習指導書：『ミュゼオロジーⅠ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

## その他

日頃からできるだけさまざまなミュージアムに実際に足を運び、そこで何を見て、体験し、そして何を感じたかについて振り返りつつ、学習をすすめてほしい。

また、レポート作成の際は、課題の趣旨を理解するために、よく学習指導書を読むこと。

学芸員課程履修者は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。